

第 144 回サイエンス・カフェ札幌

「AI 時代、どうしたい？『人とモノの狭間のなにか』を哲学する」を開催

【概要】

生成 AI が日常化する一方で、「実在する人物を再現する AI」の登場など、人間と技術の境界をめぐる新たな倫理課題が浮かび上がっています。本カフェでは、哲学・倫理学の視点から AI の“特異な立ち位置”をとらえ直し、ワークを通じて私たちの中にある「使ってみたい／少しこわい」などの感情を言語化しつつ、これからの向き合い方を来場者と共に考えます。

◎AI は“人とモノの狭間”にある——私たちはどう向き合うか

AI 技術は近年急速に発展し、生活のあらゆる場面に浸透しています。これまで技術（道具）は人間（主体）とは明確に区別されてきましたが、AI はその中間に位置する特異な存在です。そのため、「人間を再現する AI」のように、哲学的・倫理的な新たな課題を投げかけています。AI を便利な道具として享受しつつも、「本当にこれでよいのか？」と私たちは迷い、立ち止まらざるを得ません。今後、AI とどう関わっていくのか——それは科学だけでは答えの出せない“正解のない問い”です。

◎研究者と市民がともに考える、対話型のサイエンス・カフェ

今回のサイエンス・カフェ札幌では、AI と人間関係を哲学的に研究する北海道大学人間知×脳×AI 研究教育センターの宮原克典准教授をお迎えします。カフェ前半では、「そもそも技術とは何か？」という入り口から出発し、AI が人とモノの中間に位置する意味を考えます。後半では、参加者から寄せられた感想や疑問に宮原准教授がコメントし、市民と専門家の双方向の対話を実現します。こうした活動を通じて、AI とともに生きる未来について自ら考えるきっかけを提供します。

【日 程】 2025 年 10 月 19 日（日）14:00～15:40（開場 13:30）

【場 所】 紀伊國屋書店札幌本店 1F インナーガーデン
（札幌市中央区北 5 条西 5-7 sapporo55 1F）

【主 催】 北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

【対 象】 一般市民

【定 員】 先着 40 名

【話 者】 ゲスト：宮原克典 北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター（CHAIN）准教授
聞き手：CoSTEP「対話の場の創造実習」2025 年度受講生

【参 加 費】 無料

【申込方法】 事前申込不要。当日、直接会場へお越しください。

お問い合わせ先

北海道大学大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション
教育研究部門（CoSTEP） 担当：沼田翔二郎（ぬまたしょうじろう）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320

メール s.numata@open-ed.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/event/34768>

配信元

北海道大学社会共創部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp

AI 時代、どうしたい？

「人とモノの狭間のなにか」を哲学する

ゲスト 宮原克典 さん

北海道大学 人間知・脳・AI 研究教育センター 准教授

聞き手 北海道大学 CoSTEP 対話の場の創造実習 受講生

2025 10.19 日 14:00-15:40 13:30 開場

紀伊國屋書店札幌本店 1F インナーガーデン

北海道札幌市中央区北5条西5-7 sapporo55 1F



宮原克典 さん | 北海道大学 人間知・脳・AI 研究教育センター 准教授

北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター (CHAIN) 准教授。1982 年生まれ。2013 年東京大学大学院博士課程単位取得満期退学、15 年博士 (学術)。16 年ハーバード大学哲学フェロー、18 年ウーロンゴン大学ポスドク研究員、20 年北海道大学人間知・脳・AI 研究教育センター特任講師を経て、25 年 4 月から現職。

専門分野は哲学 (とくに認知科学の哲学、人工知能の哲学・倫理学、現象学)。主な研究テーマは、生命や身体の観点から心を捉え直す「エナクティヴィズム」の思想、「人工主体」をめぐる哲学的・道徳的な問題。主な訳書に『現象学的心：心の哲学と認知科学入門』(共訳、勁草書房、2011 年)、『現象学入門』(共訳、勁草書房、2018 年) など。

あなたは、AI 技術をどのように使っていますか？

仕事でのメール作成やチャットでの悩み相談など、便利さや楽しさを実感している人も多いかもしれません。一方で、AI との会話に過度に依存してしまったり、生成されたフェイク画像や動画が犯罪につながったりといった、倫理的な問題も生じています。

そんな中で AI はますます進化を続け、最近では「実在する人物を再現する」技術の開発・利用が始まっています。自分の代わりに仕事をしてくれる AI、亡くなった家族を仮想的に再現した AI、あるいは「推し」との会話を可能にする AI……。もしこうした技術が身近に存在する未来が訪れたら、あなたはどう受けとめ、どのように関わっていきたいですか？

今回のサイエンスカフェでは、AI を哲学・倫理学の観点から研究している宮原克典さんをお招きします。「そもそも人間にとって技術とは？」という切り口から始め、技術と人間の関係の中で AI が占める特異な立ち位置を考えます。さらにワークショップでは、「実在する人物を再現する AI」が身近になった未来を想像します。そこに生まれる「使ってみたい!」「少しこわいかも…」などの漠然とした感情を、哲学の視点を手がかりにしながら整理し、言葉にしてみましょう。みなさんの思いを、宮原さんと対話を通して深掘りしていきましょう。

——さあ、AI 時代、どうしたい？

詳細はこちら
CoSTEP WEB



今回のサイエンス・カフェ札幌

第 145 回 2025 年 11 月 30 日 (日) 14:00-15:30

紀伊國屋書店札幌本店 | テーマ：感染症

西條 政幸さん/札幌市保健福祉局 医師・保健衛生担当局長

第 146 回 2025 年 12 月 19 日 (金) 18:30-20:00

NHK 札幌放送局 8K 公開スタジオ | テーマ：睡眠・夢

常松 友美さん/北海道大学 大学院理学研究院生物科学部門 准教授

北海道大学 大学院教育推進機構

科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP・コーステップ)

〒060-0817 札幌市北区北 17 条西 8 丁目

北海道大学 高等教育推進機構 N163A 室

costep_office@ml.hokudai.ac.jp / tel&fax 011-706-5320

CoSTEP は科学技術の専門家と市民の橋渡しをする人材を育てる教育研究組織です。